※記入欄以外は編集できないようにロックがかかっています。
※電子データをメールに添付してご提出ください。
※提出（送信）後の差し替えはできません。

2025
↑事務局で記入します

公益財団法人 東急財団

多摩川の美しい未来づくり助成

2025年度　助成金交付申請書　＜様式1＞

申請する年月日をご記入ください。

（募集要項P2－2. 助成の枠組みを参照）、および採択決定後の修正申請用　書式）

希望する申請期間と助成種別を選択ください。
（募集要項P2－2. 助成の枠組みを参照）

印刷した際に、全てが表示される文章量でご記入ください。

申請年月日（西暦）
年　月　日

公益財団法人　東急財団　御中

申請期間	3年間	助成事業種別	A　通常コース
▼をクリックし選択		▼をクリックし選択	

← ・A　通常コース・・・一定の科学的根拠に基づく本格的研究・活動
・B　ステップアップコース・・・一定の科学的根拠に基づく研究・活動の準備活動

応募事業名	●●●●●における△△△△△△△△△△△△△△△△△△を用いた□□□□□□□□□□□□□□□□□事業

応募事業の趣旨や内容が伝わる「事業名」を記入してください。

助成開始後、事業完了報告書の提出や成果報告会などへ出席することに同意します。	☑
助成事業は政治・宗教が目的でなく、反社会的勢力とは一切関わりはありません。	☑

← 同意いただくことが応募資格になっています。チェックください。

1. 申請者概要

枠内に収まるようにお書きください

1)	申請者分類	研究者・研究機関	国立大学法人 ・ 学校法人 ・ 個人 ・ その他（　　）		※該当するもの以外を削除してください
		民間非営利団体	認定NPO法人 ・ NPO法人 ・ 社団／財団法人 ・ 任意団体		
2)	名称（正式名を略さずにお書きください）	〇〇〇〇と□□□を守る会　または　□□□□大学〇〇研究室			
3)	代表者	氏名	東急　環子	役職	代表理事　／　教授
4)	主たる事務所等の所在地と連絡先	〒〇〇〇－〇〇〇〇			
		〇〇〇県□□□□区□□□□□町　□□－□－□　□□□ビル3階			
		TEL	□□□-□□□□-□□□□	E-mail	□□□□@□□□□.□□□□
5)	ウェブサイ	□□□□□□□□□.□□□□□□□			
6)	（ふりがな）助成事業の担当者氏名	（姓）	（名）		
		たまがわ	いちろう		
		多摩川	一郎		
7)	担当者の所属部署・役職	●●事業担当部長、事務局長　／　准教授			
8)	担当者の連絡先	TEL	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	E-mail	〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇〇〇

ビル名等も漏れなく記入してください。

担当者とは、事務局からの問い合わせ等に対応いただく、助成事業に関する実務上の責任者となる方です。

連絡が取りやすい、TELやE-mailを記入してください。

9) 他主体との連携実績

過去、研究や活動の発展のために他主体と連携した経験・実績がある場合、代表的なものを1つ記入ください。
※「他主体」とは、申請者が研究者・研究機関なら民間非営利団体、申請者が民間非営利団体なら研究者・研究機関を指す

連携先の組織・機関名・部署名等	代表者	役割
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇	△△△　△△	

過去に他主体と連携・協働した経験・実績ある場合は、代表的な事例を1つ挙げてその成果と影響について説明してください。

取り組み内容と成果、社会へ与えた影響など

2015年、◇◇◇大学の◇◇◇◇◇や市民団体□□□□□□□□とともに多摩川流域に生息する絶滅危□□□□〇〇〇の保全を目的として、生存数把握と保全対策の検討に取り組み、以降は夏～秋にかけてボランティアを集めた□□□□□□□□□□活動（ただし、絶滅危惧種保護の観点から上流域では市民参加型の活動は難しいため、また散乱ごみの影響が特に甚大な中下流域で）を継続してきた。□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。
□□。コロナ禍中の2020年からの3年間はボランティアを集めた活動は実施できていなかったが、2023年度から再開している。□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

※本ページは、全ての内容が＜様式１＞から自動転記されます。
事務局管理用のページであるため、記入いただく必要はありません。

2025
↑事務局で記入します

公益財団法人 東急財団

多摩川の美しい未来づくり助成

2025年度　助成金交付申請書　＜様式2＞

申請期間	3年間	助成事業種別	A　通常コース

← ・A　通常コース・・・一定の科学的根拠に基づく本格的研究・活動
・B　ステップアップコース・・・一定の科学的根拠に基づく研究・活動の準備活動

応募事業名	●●●●●における△△△△△△△△△△△△△△△△を用いた□□□□□□□□□□□□□□□□□事業

1. 申請者概要

1)	申請者分類	研究者・研究機関	国立大学法人 ・ 学校法人 ・ 個人 ・ その他（　　）	※該当するもの以外を削除してください
		民間非営利団体	認定NPO法人 ・ NPO法人 ・ 社団／財団法人 ・ 任意団体	
2)	名称	〇〇〇〇と□□□を守る会　または　□□□□大学〇〇研究室		
3)	代表者	氏名	東急　環子	役職　代表理事　／　教授
4)	ウェブサイト	http.//□□□□□□□□□□□□.□□□□□□□		
5)	他主体との連携実績	連携先の組織・機関名・部署名等	代表者	役割・担当
		◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇	△△△　△△	□□□□□□□□□□□□□□□□□
		取り組み内容と成果、社会へ与えた影響など		
		2015年、◇◇◇大学の◇◇◇◇◇◇や市民団体□□□□□□□□とともに多摩川流域に生息する絶滅危惧種〇〇〇〇の保全を目的として、生存数把握と保全対策の検討に取り組み、以降は夏～秋にかけてボランティアを集めた□□□□□□□□□□活動（ただし、絶滅危惧種保護の観点から上流域では市民参加型の活動は難しいため、また散乱ごみの影響が特に甚大な中下流域で）を継続してきた。□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□

2. 助成事業の目的

（取り組む活動のテーマに関して、どのような課題が存在しているのか ※枠内に収まるようにお書きください（申請前に印刷してご確認ください）

□□□

5. 助成事業の成果目標と社会還元

（研究・活動の結果＝「アウトプット　Output」、社会の変化＝「アウトカム　Outcome」）

助成を受けて実施する研究や活動の目標　＝　アウトプット

・□□□

※本シート「④先行研究について（9～12）」は、申請者が研究者・研究機関の場合に限り記入してください。

9. 助成事業と先行研究との関係、または、助成事業実施の際の参考研究

（枠の高さは変えないでください）

研　究　課　題　名	代表研究者氏名	発表年（西暦）	当財団の助成の有無	関　連　性　の　説　明
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	[illegible]	[illegible]	なし	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

13. スケジュール
（いつ、どこで、何を、どのような手法で、どうするのか）　　↓ガントチャートで記入してください。

印刷した際に、全てが表示される文章量でご記入ください。

当年度（2025/4～2026/3）	4～		10～12月	1～3月
□□□□大学〇〇〇研究室〇〇教授と協議	→	●	●	
□□□□□□□□□調査計画の検討	→			
□□□□□□□□□調査活動の準備と実施		調査①実施（7月）●	調査②実施（10月）●	調査結果まとめ・考察 →
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□調査結果の報告会			報告会イベントの企画内容検討 →	調査報告イベントの開催（2月末）●
□□□□□□□□□□□□□□□				
□□□□□□□□□□□の保全活動（年〇回）	イベント内容の検討 →	● 保全活動	● 保全活動	
Webサイト発信		Webサイトで〇〇〇活動の必要性を発信 →	→	→
YouTube配信		YouTubeでNPO法人〇〇〇〇との対談を配信（本活動の重要性について）		
		● 撮影	● 配信1回目	● 配信2回目
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

16. 助成事業の予算書 （単位 ： 円）

※記入欄以外は編集できないようにロックがかかっています。
※文字数がおさまらない場合は、行の幅を調整ください。
※項目がおさまらない場合は、金額の少ないものを「その他」として、まとめてください。
（行数やページ数の増加、文字の縮小はしないでください。）

(1) 器具備品費 ： 使用可能期間が1年以上で、一個または一式10万円以上となるもの

費目 （助成の条件、注意事項）	総額 （単価×個数）	うち、助成 要望額	単価	個数	内容
助成事業に直接使用する器具備品（使用可能期間が1年以上、一個または一式10万円以上のもの） ※助成事業実施のために、新たに必要となるものに限ります。パソコン・カメラなど、他の活動への汎用性の高い機材、研究活動の場合は研究者として当然所持しているべき器具等は対象外です。ただし、機能向上等のため必要があるときは、その旨を内訳欄に注記してください。 ※たとえば分析機材は、複数の部品が組み合わさり1つの機器として機能するものです。それを1単位（一式）として[illegible]万円になる以上になるか[illegible]定ください。	300,000	250,000	100,000	3	□□□□□□□□□□□□□□□□
	100,000	100,000	100,000	1	□□□□□□□□□□□□□□□□

(5) 旅費交通費　：　助成事業の実施に伴う国内旅費（交通費および宿泊費）

費目 （助成の条件、注意事項）	総額 （単価×個数）	うち、助成 要望額	単価	個数	内容
使用する交通費（レンタカー代、ガソリン代、高速道路代含む）、臨時雇用者の宿泊費（交通費）は、謝金に区分します。 対象区域内相互間、および自宅または所属機関と対象区域との往復 ※対象地域外への現地調査、流域外への出張等の助成については財団が個別に判断 ※日当、食費などは、助成の対象になりません	10,000	10,000	5,000	2	調査活動実施の際の車両ガソ
	10,000	10,000	10,000	1	□□□□□□□□□□□□
	12,000	10,000	3,000	4	調査活動実施の際の高速道路代 （3,000円×往復×2回）
	50,000	50,000	10,000	5	○○○○活動の宿泊費 （5泊）
	0				
	0				
	0				
	0				
	0				
小　　計	82,000	80,000			

印刷した際に、全てが表示される文章量でご記入ください。

費用は必ず算出根拠を明記してください。（現状で可能な限り見積もりしてください）

金額の単位は、全て「円」としてください。

各費目の条件や注意事項を参照して記入してください。

(6) 謝金 ： 助成事業の実施のための、外部から招聘する専門家による分析・助言・講演等への謝礼

費目 （助成の条件、注意事項）	総額 （単価×個数）	うち、助成 要望額	単価	個数	内容
専門家による分析・助言等への謝礼	30,000	30,000	30,000	1	○○○○活動に対する助言 （30,000円×1人）
	40,000	40,000	20,000	2	シンポジウム□□□□□□□□□□□□登壇者謝礼 （30,000円×2人）
	96,000	96,000	12,000	8	助成事業実施のための臨時雇用者への謝礼（交通費込み） 現地：2日×4回＝8日
	200,000	100,000	10,000	20	助成事業実施のための臨時雇用者への謝礼（交通費込み） 室内：20日
	0				
	0				
	0				
小　　計	366,000	266,000			

(7) 人件費 ： 助成事業の実施に伴う賃金、アルバイト代

費目 （助成の条件、注意事項）	総額 （単価×個数）	うち、助成 要望額	単価	個数	内容
民間非営利団体の人件費は、所定内賃金のみを対象とし、法定福利費や賞与は対象外です。 申請研究者本人および共同研究者の人件費や謝金は認められません。ポスドク等の研究補助者の人件費は、助成事業に直接係るものに限り認めます。 ※人件費を申請する場合は、単価の算定根拠資料を提出すること。	240,000	100,000	1,500	160	助成事業担当職員の人件費 （1,500円/時間×8時間×20日）
	0				
	0				
	0				
	0				
	0				
	0				
	0				
	0				
小　　計	240,000	100,000			

(8) その他 ： 郵便代・宅急便代などの通信運搬費、器具備品のレンタル料や会議場などの賃借料、野外活動の傷害保険料など

費目 （助成の条件、注意事項）	総額 （単価×個数）	うち、助成 要望額	単価	個数	内容
機器・設備・資料などの発送料、通信費、賃借料、学会参加費（1万円以内）、論文掲載料（5万円以内）、その他 ※学会参加費は、実際に学会で発表する人のみ。同伴者の参加費は対象外。 ※以下は助成対象になりません ・飲食代、会議等の茶菓子代 ・研究者の所属機関（大学等）の一般管理費（間接経費、オーバーヘッド）	15,000	15,000	50	300	シンポジウムにおける配布資料 50円×300人
	10,000	10,000	5,000	2	調査サンプル（水質）を分析機関に送る際の送料 5,000円×2回
	10,000	10,000	5,000	2	調査サンプル（生きもの）を分析機関に送る際の送料 5,000円×2回
	21,600	20,000	1,800	12	インターネット通信料 月6,000円×30%×12か月
	50,000	30,000	50,000	1	シンポジウムの会場費用 （一式）
	0				
	0				
	0				
小　　計	106,600	85,000			

合　　計	2,677,600	2,000,000

←助成要望額の千円未満は切り捨てられます。

以　　上

※賃借、購入等は、「当該取引を業とする者」が相手となる場合のみ助成の対象とします（友人、知人等との取引は、助成の対象外です）。

ア ン ケ ー ト

本助成プログラムをより良いものにしてくため、ご協力をお願いいたします。

申請者の名称 ○○○○と□□□□を守る会　または　□□□□大学○○研究室

①申請者概要シートの、2)名称が自動転記されます

1. 本助成プログラムは何でお知りになりましたか？
（当てはまるものをいくつでも）

☑	A. メールマガジン、メーリングリスト	具体的に:	□□□□□